



# 大学院説明会

京都女子大学大学院 発達教育学研究科  
心理学専攻 博士前期（修士）課程

# 研究科・専攻・研究領域

研究科	専攻	研究領域	募集人員
発達教育学研究科	心理学	心理学	8名
		臨床心理学 (公認心理師課程)	

## 【入学者受入れの方針】

心理学に関する総合的な専門的知識あるいは技能の有無について筆記試験を通じて精査し、志望動機、目的意識、学習意欲、適性、将来性などに関して面接試験を通じて総合的に審査し、合否判定を行います。単に専門的知識だけではなく、主体的に問題を見いだす問題発見能力やそれに対する問題解決能力及び研究能力を備えた入学者を求めています。

# 研究（修士論文）指導

研究科	専攻	研究領域	研究（修士論文） 指導教員
発達教育学研究科	心理学	心理学	伊東 裕司 岩原 昭彦 広瀬 雄彦 八田 武俊
		臨床心理学 （公認心理師課程）	岩原 昭彦 下津 咲絵 中井 靖

授業担当教員：阿部 望，稲塚 葉子，松浦 ひろみ

※各教員の専門とする研究領域詳細については大学HPをご参照ください。

# 伊東 裕司 研究室紹介

## 【指導教員の専門・最近の研究】

- 専門は**認知心理学**、**司法心理学**
- 現在は、「**人違い**」の研究に力を入れています。人物同定・誤同定研究にまったく新しい視点をもたらす研究テーマです。
- その他、認知心理学の応用として、**目撃者による記憶（目撃証言）**の研究、**裁判員による判断過程**の研究を行っています。

## 【研究指導可能な領域】

- 上記のほか、記憶を中心とする認知心理学全般における基礎的、および応用的研究領域の指導が可能です。

## 【指導修士論文の題目（前任校のものを含む）】

- 大域処理・局所処理の方向付けが有効視野に与える影響
- 耳撃記憶における事後情報効果：音声に対する評価と識別からの検討
- 虚記憶における気分一致効果：記銘および想起時の気分操作による検討
- 直前の挿入課題が再認判断に及ぼす影響：Revelation effectのメカニズム解明
- 顔認知における全体的情報と部分的情報の利用可能性と接近可能性：課題状況による影響の検討

ほか

# 岩原 昭彦 研究室紹介

## 【研究テーマ】

中高年者の健康増進や疾病予防に関わる心理学的研究

- 1) 中高齢者の高次脳機能の低下防止
  - \* 認知の加齢性変化の特徴（認知加齢研究）
  - \* 加齢性の機能低下を防止する要因（認知症予防研究）
- 2) 心理学的要因がアドヒアランスの向上に及ぼす影響
  - \* 生きがい感や主観的幸福感との関連性（ウェルビーイング研究）
  - \* 自己効力感や動機づけとの関連性（ポジティブヘルス研究）

## 【指導修士論文の題目】

- \* 運動機能と遂行機能との関連性についての神経心理学的研究
- \* 老年的超越と主観的Well-beingとの関連性における人生の意味の媒介効果
- \* ノスタルジアと人生の意味との関連性
- \* マインドフルネス特性と実行機能との関連
- \* 精神的苦痛と睡眠の質の関連性におけるセルフ・コンパッションの影響

## 【研究・実践の目的】

- ①健康の増進と維持
- ②疾病の予防と治療
- ③疾病の原因究明
- ④健康的な社会の実現

特に、高齢者を対象として、神経心理学、認知心理学、健康心理学、老年心理学の観点からアプローチをしている

# 広瀬 雄彦 研究室紹介

【所属】発達教育学研究科心理学専攻心理学領域

【専門領域】教育心理学、言語心理学

【担当授業科目】（博士前期課程）教育認知心理学特論A,B、教育認知心理学演習A,B、心理学課題研究A,B（博士後期課程）研究指導

【指導修士論文の題目】

「刺激語の情動性が潜在記憶に及ぼす影響」

「ストーリーの再生に及ぼす場面の熟知度と質問方法の効果－日常場面のビデオクリップを用いた検討」

「テキストの提示方法が自己説明効果に及ぼす影響」など。

【指導博士論文の題目】

「養護教諭の職務の特性に関する研究～多様な職務の理解をめざして～」など。

# 八田 武俊 研究室紹介

【専門】 ○○心理学というのにはやらない気もしますが、あえて言うなら社会心理学、健康心理学といったところでしょうか。

【博士論文】 電子メディア交渉に関する社会心理学的研究

この研究に携われたおかげで、心理学が面白いと感じられました。

【現在の研究テーマ】 怒り、反すう、ゆるし、高齢者の社会的行動

怒り反すうの個人特性と犯罪行動について一緒に研究してくれる方、ご連絡ください。

【学生さんへのメッセージ】 何事もままならないものですが、少しずつ頑張りましょう。

# 下津 咲絵 研究室紹介

サイエンティスト・プラクティショナー  
(科学的視点をもつ実践家)  
の養成を目指して

【専門】 臨床心理学・認知行動療法 ※認知行動療法師スーパーバイザー (日本認知・行動療法学会)

【現在関わっている研究】

- ・医療従事者のマイクロアグレッションに対する教育プログラムの開発
- ・女子大学生の月経随伴症状に対する認知行動的介入プログラムの開発
- ・精神疾患のセルフスティグマ低減に対する認知行動療法の有用性の検討
- ・新タイプ抑うつの治療・介入および予防に向けた心理学及び精神医学の総合的研究
- ・中高生版の認知行動療法に基づくメンタルヘルス予防プログラムの開発

【指導修士論文の題目】

「抑うつ予防を目的とした反芻に対する肯定的信念への介入の試み」

「不合理な信念が援助要請意図に与える影響—利益とコストの予期に着目して—」

「子どもの精神的健康と教師のメンタルヘルスリテラシーとの関連」 ほか

# 中井 靖 研究室紹介

## 【専門】

- 自閉スペクトラム症児の独特な話し方
- 発達検査の活用
- 保育所等・療育施設における心理職

## 【指導修士論文の題目】

- 特別支援教育コーディネーターにおける役割ストレス
- 特別支援学校の生徒指導主事経験が及ぼす影響－指導力、やりがい、幸福感に着目して－



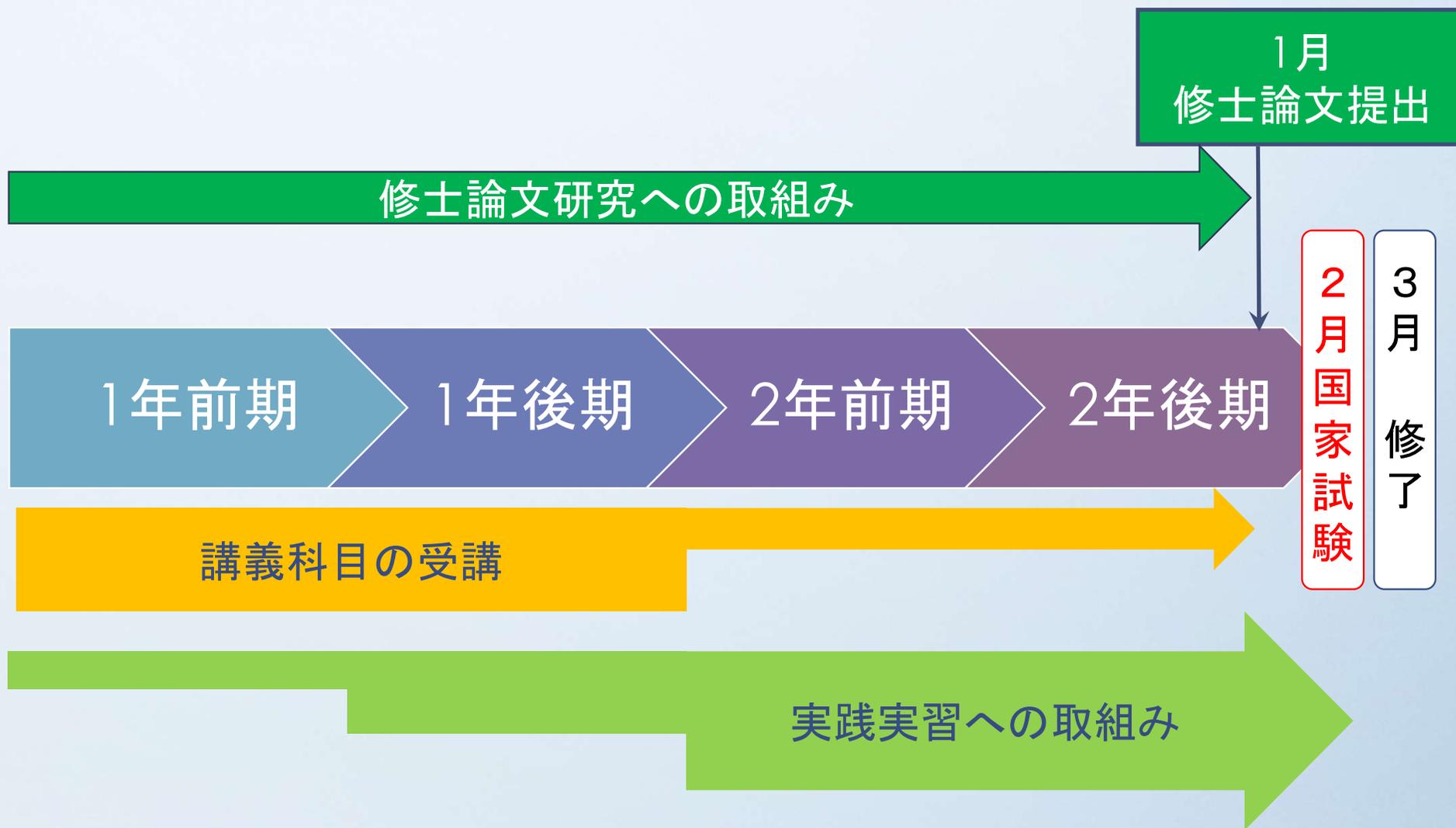
# 公認心理師養成カリキュラム概要

公認心理師国家試験

本学修了生は  
第1回2018年度以来  
合格率 100%

※公認心理師課程については臨床心理学領域入学者のみ対応しています。

# 博士前期（修士）課程2年間の概要



# 修士論文研究

## 指導教官の指導のもと研究をすすめる

- ✓ 何について研究したいか
- ✓ 臨床的意義



### 研究計画

- 先行研究
- 研究法
- 研究倫理



### データ収集

- 分析
- 考察



### 執筆・発表

- 論文作成
- 研究発表

## 講義科目 (※2022年度入学生)

### 公認心理師法の定める必要な科目

保健医療分野に関する理論と支援の展開
福祉分野に関する理論と支援の展開
教育分野に関する理論と支援の展開
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
産業・労働分野に関する理論と支援の展開
心理的アセスメントに関する理論と実践
心理支援に関する理論と実践
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
心の健康教育に関する理論と実践



### 学びを深めるための本学独自科目

精神医学特論
心理検査法特論
精神科臨床演習
臨床心理学研究法特論
心理学統計法
神経心理学特論
心理学課題研究(修士論文指導)

# 実習施設

<b>公認心理師法の定める必要な実習</b>
450時間以上の心理実践実習
そのうち
担当ケースに関する実習270時間以上
そのうち
学外の施設での当該実習90時間以上



## 本学における実習

※各領域においてどの施設での実習となるかは各学生の志望領域により決定

学内こころの相談室	福祉領域候補施設	教育領域候補施設	保健医療領域候補施設
ケース担当	療育施設	京都女子中学校	精神科単科病院
ケース陪席	保育施設（巡回）	京都女子高等学校	医大病院精神科
カンファレンス参加	児童心理治療施設		（健診スタッフ）
外部スーパーヴァイズ	児童養護施設		（人材研修見学）
（集団療法・PT参加）	乳児院		

# 実習スケジュール

学内施設



ケースカンファレンスへの参加・発表

個別ケース担当

外部スーパーヴァイズ

(研修生制度)

1年前期

1年後期

2年前期

2年後期

学外施設



福祉実習A

福祉実習B

SC実習

SC実習

病院実習A

病院実習B

# 本学の特徴

実習時間・  
担当ケース  
数の充実

実習施設  
の質の高  
い指導

実習の充実

5領域の  
うち3領  
域に特化

少人数教育

親身で  
丁寧な  
指導

院生達の  
仲の良さ

教員の  
専門性を  
活かした  
教育

サイエン  
ティスト・  
プラクティ  
ショナーの  
養成

修了後も  
研修生と  
して継続  
して学べ  
る環境